

街なかに賑わいを 「第1回おまち会議」開催

9月25日

この企画は、かつてハレの場として賑わった商店街の従来の在り方を考え直し、商店主だけでなく市民を主体とした新たなコミュニティ活動の場としていくことで、街の活気を取り戻していくことを目的としています。

全国各地の地域再生の取り組みに携わる(株)studio-Lの協力のもと3ヵ年計画で実施され、その第1回目には、学生や会社員などさまざまな職種の市民約100人が参加しました。

はじめに、(株)studio-L代表の山崎 亮さんから各地のコミュニティ活動の事例が紹介され、各地のいきいきとした活動の様子に参加者は目を輝かせながら聞き入りました。

その後、ワークショップ形式で「商店街でやってみたい活動」などについて、それぞれの目線で考えたことなどを活発に意見交換し、今後の活動のアイデアを膨らませていました。

次回のおまち会議は11月4日(月)祝、実際に商店街を会場にして行われます。

マハタぷるるん丼 「うまいもん甲子園」全国大会へ!

9月18日

高校生による、地域食材を活用した創作料理日本一を決めるコンテスト『第2回 ご当地! 絶品うまいもん甲子園』(主催 農林水産省など)の中四国エリア予選が8月26日(月)に広島市で行われました。

9月18日(水)に中四国エリア予選の結果発表があり、この大会に「マハタぷるるん丼」で初挑戦していた宇和島水産高校が、見事、エリア予選を勝ち抜き、11月1日(金)に東京で開かれる決勝大会に進出することになりました。

「マハタぷるるん丼」は、さらなる普及促進を目指して、宇和島地域雇用創造協議会のセミナーなどで改良が進められています。

水産高校生徒の「マハタぷるるん丼」が、全国大会でも健闘することを願います。



いつまでも大活躍! これかた会護法太鼓 授章

9月26日

年齢にとらわれず社会参加活動を積極的に行っている高齢者グループなどを紹介する、内閣府の「平成25年度エイジレス・ライフ実践事例および社会参加活動事例」に、これかた会護法太鼓が選ばれ、同会の田中 照美 代表に、石橋 寛久 市長から「社会参加章」と記念の楯が渡されました。

これかた会護法太鼓は、7年前の平成18年に発足し、現在は構成員数17人、平均年齢80歳の団体です。10日に1回のペースで練習し、その成果を地域のイベントなどで披露しています。

田中代表は、練習でも大きい声を出して笑うことと、元気よく・楽しく・仲良くすることが元気の活動の秘訣、と話していました。



伊達五十七騎 戦国武者行列 牛鬼出現秋の陣

9月22日

公募により選ばれた参加者が甲冑姿で市内を練り歩く、伊達五十七騎戦国武者行列が行われました。



このイベントは、宇和島藩初代藩主 伊達 秀宗公が宇和島に入部する際、特に信頼した57人の家臣を伴っていたことを再現した武者行列です。

きさいや広場で出陣式を行い全員で勇ましく勝どきを挙げ、またきさいやロードでは、丸穂・市役



所牛鬼保存会の2体の牛鬼が合流し、武者行列と一緒に勇壮に練り歩きました。メインステージが設置された牛鬼すとりーとでは、愛の葉ガールズNANYOの公開オーディションで合格した堀川 文萌子さんが伊達姫役として登場し、会場を盛り上げました。